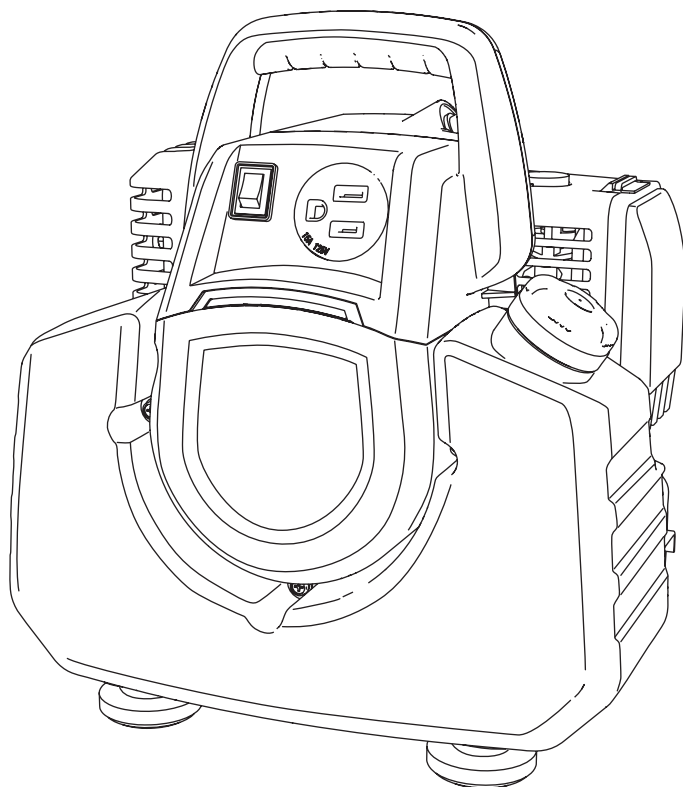


インバーター発電機

PG 700i

取扱説明書（保証書付）



POWERTECH
ELECTRIC POWER TECHNOLOGY

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。

本書は PG700i 発電機の取扱説明書（保証書付属）です。

本書は必ず発電機と一緒に保管しておいてください。

※本書は発電機の正しい取り扱いおよび点検、調整に関する事項を下記のマークを使用して説明しています。必ず取扱説明書を良くお読みいただいたうえ、取扱説明書の指示に従うようにしてください。



警告

使用において説明書に従わなかった場合、怪我や死に至るおそれがある場合に表示しています。ご不明な点がある場合は販売店、またはパワーテックにご相談ください。



注意

使用において説明書に従わなかった場合、怪我や使用機器に重大なダメージを与えるおそれがある場合に表示しています。ご不明な点がある場合は販売店、またはパワーテックにご相談ください。



ポイント

正しい操作方法や役に立つ情報を表示してあります。



警告

取扱説明書に記載されている注意事項を守らなかった場合、怪我や死に至る場合があります。発電機を起動させる前に本体に貼付されているラベルの注意事項と本書をよくお読みください。

発電機は換気の良い場所で運転するようにしてください。発電機からの排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれていますので大変危険です。

燃料を補給するには必ずエンジンを停止してから補給するようにしてください。また、発電機を再始動する前に 5 分間ほど時間を置いて、燃料漏れがないかどうかよく確認してください。



注意

使用前には必ず発電機を点検し、必要ならば清掃、修理をおこなってください。また発電機の燃料タンクには火気を近づけないようにしてください。

本発電機を正しく安全にご使用いただくために、取扱説明書を良くお読みになりご理解ください。ご不明な点は販売店、またはパワーテックまでお問い合わせください。発電機を正しく使用していただき、末永く愛用してくださいますようお願い申し上げます。

弊社では、あらゆる環境下での本機使用で起こりうるすべての危険を予測することはできず、したがって本書に記載されている注意事項はそのすべてを網羅したものではありません。お客様の責任において、十分な注意を払って本機をご使用いただきますようお願いいたします。

※マニュアルの内容は予告無く変更する場合があります。



警告

発電機を初めて使用される場合の注意事項

1. 必ず屋外にて使用してください

発電機は運転中に一酸化炭素を排出します。室内や倉庫内などの換気の悪い場所で使用しますと一酸化炭素中毒の危険があります。発電機は必ず屋外の換気の良い場所で使用するようしてください。

2. 発電機に水がかからないようにしてください

発電機を雨中、もしくは水のかかるおそれのある場所では使用しないでください。また、水で濡れた電気機器の使用および濡れた手での操作は感電の危険があるため、絶対にお止めください。

3. 医療機器への使用に関して

医療機器への使用に関しましては必ず事前に医療機器メーカー、医師、病院などに確認してから使用するようしてください。

4. 周波数を使用機器、もしくは使用する地域にあわせて設定してください

本発電機は AC 出力電源 50/60Hz の切替が可能となっていますので使用機器、もしくは使用する地域の周波数（東日本 50Hz、西日本 60Hz）に合わせて切り替えてください。

間違った周波数で使用すると機器の動作不良、故障などにつながるおそれがありますので、使用機器の説明書などで仕様を良く確認してから周波数を設定してください。

5. 初期始動時にエンジンのかかりが悪い場合があります

初めての始動時、もしくは一度燃料を抜いた状態からの始動時にはエンジンのキャブレター内に十分な燃料が供給されていないため、プライマリーポンプを使用したうえでスターターを数回引かないと始動しません。燃料タンク内に十分に燃料が入っていることを確認のうえ、始動するまでスターターを繰り返し引くようにしてください。（始動しない場合は取扱説明書の「エンジン始動」の部分をよく読んで各種スイッチ、レバーの位置などを確認してください）

6. 発電機本体が振動により移動する場合があります

発電機本体を鉄板、コンクリートフロアなどの平滑な場所に置いて使用する場合、発電機自身の振動により、本体が移動することがあります。

その場合、転倒や滑落の危険性があるのでストッパーなどを使って発電機の移動防止策をおこなってください。

7. 混合燃料を使用してください

この発電機は無鉛ガソリン 50 に対して 2 サイクルエンジンオイル 1 の比率で混合した混合燃料を使用します。故障の原因となりますので他の割合や他の種類の燃料は絶対に使用しないでください。（ガソリンだけで使用すると内部が壊れます）なお、出荷時は燃料タンクは空の状態となっています。

INDEX

はじめに	2
1. 安全対策	6
2. 発電機仕様	8
2.1 仕様表	8
2.2 付属品	8
2.3 安全ラベルの表示	9
2.4 各種警告	10
2.5 各部の名称	11
3. 安全対策	12
3.1 安全に関して	12
3.2 操作に関して	12
3.3 一酸化炭素の危険に関して	12
3.4 感電の危険に関して	12
3.5 出火や火傷の危険に関して	12
3.6 その他	13
4. 始動前の準備	14
4.1 燃料補給	14
4.2 周波数切替スイッチ	14
4.3 エンジンスイッチ	14
5. 発電機の始動	15
5.1 エンジン始動	15
5.2 プライマーポンプ（シリコン製ドーム型ボタン）	16
5.3 チョーク	16
5.4 リコイルスターター	16
5.5 AC 電源ランプ / 周波数切替スイッチ	17
5.6 アース	17
5.7 マフラー	17
6. 発電機の使い方	18
6.1 AC 電源	18
6.2 AC 電源利用時の注意	18

6.3 高地での発電機使用	19
7. エンジン停止	19
8. メンテナンス	20
8.1 メンテナンススケジュール	20
8.2 点火プラグの点検	21
8.3 エアフィルターの点検	22
8.4 保管	22
9. トラブルシューティング	23
10. お問い合わせ窓口	24
10.1 お客様お問い合わせ窓口のご案内	24
10.2 保証内容	27

1. 安全対策

警告



- 本発電機を安全に使用していただくために、発電機使用前には必ず本説明書をよくお読みください。本説明書を読まずに操作を行いますと、怪我をするおそれがあります。

警告



- 排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。換気の悪い場所では決して発電機を運転しないようにしてください。また、安全のために十分な換気をおこなってください。

警告



- 発電機運転中はマフラーが非常に熱くなりエンジンを停止した後も、しばらくは熱くなったままです。マフラーには触れないようにし、エンジンが十分に冷えたことを確認してから発電機を保管してください。
- マフラーおよび排気口周辺は作動中に熱くなり、エンジンを停止した後もしばらくは熱いままです。火傷などを防止するためにも発電機に貼付されている安全マークの内容に従うようにしてください。

警告

- 発電機は換気の良い開けた場所で使用してください。ガレージや車内など換気の悪い場所での使用はお止めください。
- 混合燃料は高い引火性と爆発性があります。燃料を補給するときは必ずエンジンを停止した状態で換気の良い場所で補給してください。
- 発電機に燃料を補給する際には煙草や煙、火花から遠ざけて補給してください。また、常に換気の良い場所で補給するようにしてください。
- 燃料補給の際に混合燃料がこぼれた場合はきれいに拭き取ってください。

警告



- 通常時はもちろん、停電時でも建物の給電回路には決して発電機の出力電力を接続しないでください。接続された建物内の機器に損傷を与える危険があります。また、公共電力が回復した時に発電機が発火、または爆発するおそれがあります。

警告

- 発電機を事故や機器損傷から守るためにもエンジンを始動する前に本説明書に従って点検を実施してください。
- 発電機運転中は発電機本体を建物などの障害物から少なくとも 1 メートル以上離してください。
- 発電機は水平で安定した場所に置いて使用するようにしてください。発電機が転倒した場合、燃料漏れなどの事故を引き起こす可能性があります。
- 発電機が運転中に転倒した場合は、すぐにエンジンを停止してください。転倒後、再起動させる時は燃料の漏れが無いかに十分に確認したあと、エンジンが冷えてから再始動してください。
- 発電機をすぐに停止させる方法や、操作方法を必ず理解しておいてください。また、適切な説明無しで他の人に発電機を操作させないでください。
- 発電機運転時は発電機に子供やペットなどを近づけないでください。
- 発電機を誤って使用すると感電するおそれがあります。濡れた手で絶対に発電機を操作しないでください。
- 本発電機は防雨使用ではありませんので雨や雪の中で発電機を作動させないでください。また発電機を濡らさないようにしてください。もし、濡らした場合はすぐに使用を停止してください。
- 小石、砂利、土の地面や、でこぼこしていたり、柔らかい地面に発電機を置いて使用するのはお止めください。
- 傾斜している場所に発電機を置いて使用するのは大変危険ですのでお止めください。燃料が溢れて火災の原因になります。

2. 発電機仕様

2.1 仕様表

1. 型式番号	PG700i
2. エンジン形式	2 サイクル単気筒
3. 排気量	42.7cc
4. 定格回転数	5000rpm
5. 点火システム	無接点式ディストリビューター
6. 始動方法	リコイルスタート
7. 燃料タンク容量	2.3 リットル
8. 燃料	混合燃料
9. 燃料とエンジンオイル混合比	50:1
10. 点火プラグ	NGK BPMR7A または同等品
11. 定格周波数	50/60Hz (切替式)
12. 定格電圧	100V
13. 定格電流	7A
14. 定格出力	700W
15. 歪率	3% 以下
16. 騒音レベル	65db (7m)
17. 定格出力時における連続運転時間	3.1h
18. 本体重量	8.5kg
19. 本体サイズ (W × D × H)	320 × 250 × 330mm

2.2 付属品

この商品には点火プラグの取付 / 取り外しのために使用するプラグレンチとエンジンオイルの計量カップが付属しています。

計量カップは無鉛ガソリンと 2 サイクルエンジン用オイルを 50:1 の割合で混合する場合に利用してください。(例：3 リットルの無鉛ガソリンに対して 60 ミリリットルのエンジンオイルを混合します)



2.3 安全ラベルの表示

本体に貼付されているラベルは発電機の仕様や使い方、取扱を間違えると深刻なケガや事故が起こる注意事項に関して記載されていますのでラベルをよく読んで内容をよく理解するようにしてください。

ラベルがはがれたり読みづらくなった場合は販売店、またはパワーテックに連絡して新しいラベルを入手して貼り替えてください。

エンジンタイプ	2 ストロークガソリンエンジン
燃 料	混合ガソリン
相/電圧/周波数	単相 100V 50/60Hz
定格電流	7A
定格出力	700W



始動手順

1. ゴム製のバルブ（ドーム型ボタン）を燃料が満たされるまで3～5回押す。
2. パネルのスイッチをONに合わせる。
3. チョークレバーをclose（上方向）に合わせる。
4. リコイルスターターをエンジンがかかるまで2～3回勢よく引く。
5. エンジンの始動を確認したらチョークレバーをopen（下方向）に合わせる。
6. 電気機器を発電機に接続する。（過負荷に注意すること）

発電機の取扱とトラブルシューティングに関してはマニュアルに詳しく記載されています。

プライマーポンプ

UNDER

チョークレバー

RIGHT

無鉛ガソリンと2ストロークエンジンオイルを混合した混合燃料を使用すること。

50:1

2 ストロークエンジン

■無鉛ガソリンと2ストロークエンジンオイルを混合したオクタン価89以上の混合燃料を使用すること。

■エタノール混合燃料やアルコール混合燃料は使用しないこと。

■無鉛ガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合比は50:1とすること。

例)5リットルの無鉛ガソリンに対して100ミリリットルの2ストロークエンジンオイルを混合する。

燃 料	2	4	5	10	燃料タンク容量 3.5 リットル
2ストロークエンジンオイル	40	80	100	200	

周波数切替スイッチ



危険

屋内での発電機の使用は数分で死に至る場合があります。排気ガスには無色無臭の一酸化炭素が含まれています。



発電機は屋外でのみ使用し、窓やドア、換気装置から離れた場所で使用すること。可燃物の傍で使用しないこと。



警告



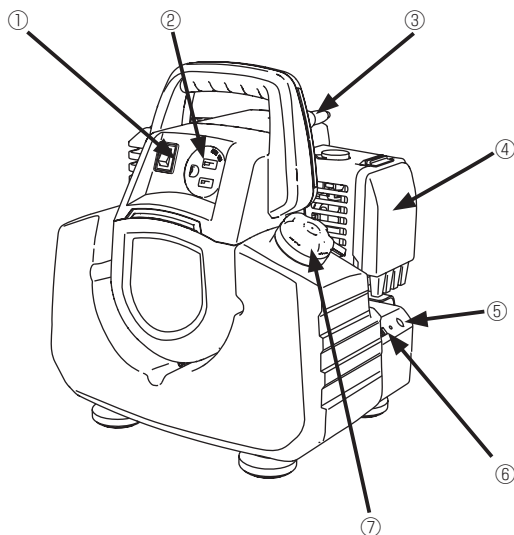
高電圧 高温注意

2.4 各種警告

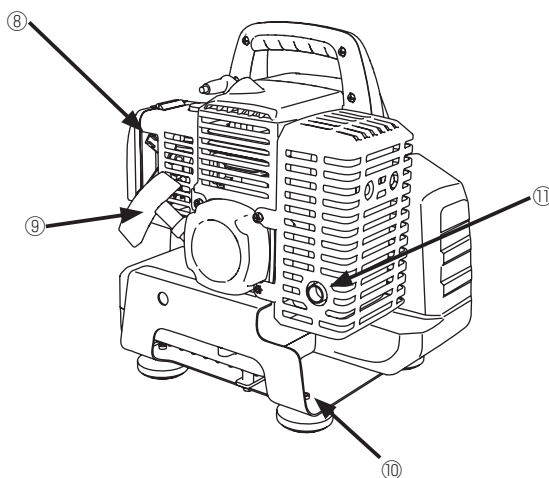
以下に記載されている内容に十分に注意して発電機を取り扱うようにしてください。

 警告	
	» 混合燃料は高い引火性と爆発性を持っているため発電機は必ず屋外で使用するこゝと。 » 混合燃料は十分に注意して取り扱うこゝと。 » 発電機に燃料を補給する際は必ず発電機のエンジンを停止した状態で火気から遠ざけて給油すること。 » 必ず換気の良い屋外で給油すること。 » 燃料は燃料タンクの上限レベル以上給油しないこゝと。 » 燃料がこぼれた場合はすぐに拭き取るこゝと。 » 燃料漏れがあった場合のことを考えて発電機のコントロールパネルのメインスイッチは必ず OFF になっていることを確認すること。
	» 発電機を密閉された空間や仕切られた空間で絶対に使用しないこゝと。室内などの密閉された空間で発電機を使用すると一酸化炭素によって重大な事故が発生するおそれがあります。
 警告	
	» 発電機を給電されているコンセントに接続しないこゝと。感電や火事などの重大な事故が発生するおそれがあります。
	» 乾燥した状態以外で発電機を使用すると感電の危険があります。 » 湿気の多い場所や雨天、降雪している状態の中で発電機を使用しないこゝと。 » 濡れた手で発電機に触れないこゝと。
	» 発電機を使用する前に取扱説明書をよく読んで内容を理解しておくこゝと。

2.5 各部の名称



- ① エンジンスイッチ
- ② AC コンセント
- ③ 点火プラグ
- ④ エアフィルターカバー
- ⑤ AC 電源ランプ
- ⑥ 周波数切替スイッチ
- ⑦ 燃料タンクキャップ



- ⑧ チョークレバー
- ⑨ リコイルスターター
- ⑩ アースターミナル
- ⑪ マフラー

3. 安全対策

3.1 安全に関して

この取扱説明書の内容をよく読んで理解することで発電機を安全かつ性能通りに使用することができます。また、発電機を安全に取り扱う手順を理解することで不要な事故を防止してください。

3.2 操作に関して

万が一の事故が発生した場合を考えて発電機を緊急停止する方法を理解してください。

- » 発電機の全ての操作やメンテナンスに関して理解してください。
- » 小さな子供に発電機を操作させないこと。

3.3 一酸化炭素の危険に関して

- » 排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は無色無臭のため大変危険です。一酸化炭素を吸入すると意識の喪失や死につながるおそれがあるため発電機は必ず換気の良い屋外で使用するようにしてください。

3.4 感電の危険に関して

発電機は大きな電力を作り出すため感電の危険があります。雨中、雪中の中での使用や濡れた手で発電機を操作するのは絶対にお止めください。

3.5 出火や火傷の危険に関して

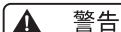
- » 発電機のエンジンやマフラーは発電機運転中や運転直後は非常に高温となります。そのため発電機は建物の壁や障害物から最低でも 1m 以上離れた状態で使用するようにしてください。
- » 発電機を覆ったり、仕切りで囲んだ状態で使用しないようにしてください。
- » 発電機のそばに引火する危険のあるものを置かないようにしてください。
- » 燃料となる混合燃料は高い引火性と爆発性を持っています。燃料の取扱には十分に注意し、燃料が溢れた場合はすぐに拭き取ってください。

3.6 その他

- » 発電機の操作、メンテナンスを行う際は手袋や防護メガネなどを装着すること。
- » 発電機への負荷は発電機の定格出力以内に収まるようにしてください。定格出力以上の負荷がかかった場合、事故や発電機の寿命を短くする原因となります。
- » 発電機を定格回転数以上で使用すると事故やけがの原因となりますので絶対にお止めください。
- » 延長コードを使用する場合はアースが取れているか確認し、延長コードの太さに問題がないか確認します。1.25 スケの延長コードならば 60m 以下、2 スケの延長コードならば 100m 以内の長さで使用するようにしてください。
- » 発電機の排気部は非常に高温となるため発電機を可燃物のそばで使用しないようにしてください。また発電機が濡れた状態で使用することは絶対にお止めください。
- » 発電機への給油を屋内で行ったり発電機の運転中に給油することは絶対にお止めください。
- » 発電機を何かで覆ったり囲ったりしている状態で発電機を使用しないようにしてください。
- » 発電機の回転数が安定してから使用する電気機器を発電機に接続してください。電気機器を発電機から取り外す際は発電機の運転を停止する前に取り外すようにしてください。
- » また、接続した電気機器は発電機から取り外すまえにそれぞれのスイッチを必ずオフにしてから取り外すようにしてください。
- » 発電機を使用する前に発電機の燃料ホースに破損や破れがないかよく確認し、ホースクランプの脱落やゆるみがないかよく確認してください。また燃料タンクも破損がないかよく確認してください。
- » 発電機の修理は専門の知識を持った技術者が行う必要があるため、修理の必要がある場合は販売店、またはパワーテックまでご相談ください。
- » 発電機を車などに載せて輸送する際や保管する際には燃料漏れの危険があるため燃料タンク内の燃料を全て抜き取ってください。また発電機は換気の良い場所に保管するようにしてください。
- » 消耗部品以外の分解や改造などは保証の適用外となり、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。

4. 始動前の準備

4.1 燃料補給



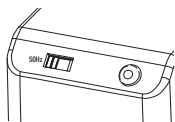
警告

混合燃料は高い引火性と爆発性を持つため燃料を取り扱う際には絶対に火気を近づけないようにしてください。

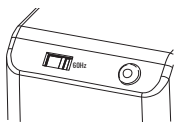
この発電機は無鉛ガソリンと2ストロークエンジン用オイルを50:1の割合で混合した混合燃料を使用します。エンジンオイルはFB～FD級のものを使用してください。燃料が用意できたら発電機が停止していることを確認してから混合燃料を燃料タンク（容量2.3リットル）に給油します。

4.2 周波数切替スイッチ

ご使用する電気機器の定格周波数、もしくは使用地域の周波数（東日本 50Hz、西日本 60Hz）に合わせて切り替えてください。（※周波数切替はエンジンを停止した状態で行ってください）



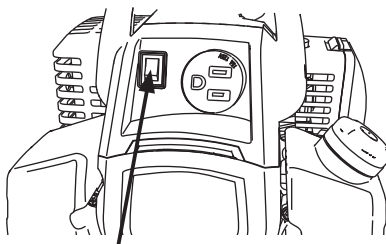
周波数切替スイッチ（50Hz）



周波数切替スイッチ（60Hz）

4.3 エンジンスイッチ

エンジンの始動と停止はエンジンスイッチにより制御されます。発電機を始動する際はエンジンスイッチをONにしてください。



エンジンスイッチ

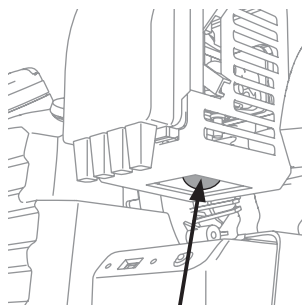
OFF：発電機運転中にエンジンスイッチをOFFにすると発電機が停止します。発電機停止中にエンジンスイッチがOFFの状態の時、リコイルスターターを引いても発電機は始動しません。

ON：発電機が運転中はエンジンスイッチはONの状態です。発電機が停止した状態でエンジンスイッチがONであればリコイルスターターを引いて発電機を始動可能です。

5. 発電機の始動

5.1 エンジン始動

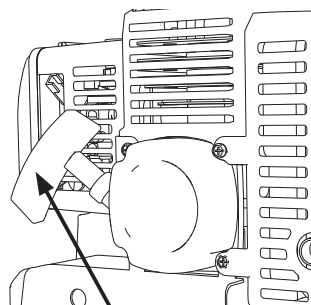
1. 透明なプラスチックパイプに燃料が流れ込むまでプライマーポンプを数回押します。
2. チョークをあらかじめ始動側に合わせます。リコイルスターターをゆっくりと数回引いてから勢いよく引っばります。
3. エンジン始動後、ゆっくりとチョークを運転の位置に合わせます。



プライマーポンプ操作部



チョーク操作部



リコイルスターター

⚠ 注意

リコイルスターターを何度も引いてもエンジンがかからない場合、点火プラグがガソリンで濡れてしまった可能性があります。発電機の点火プラグを取り外してウェスなどでガソリンを拭き取り、チョークを全開にしたまましばらく時間をおいてから点火プラグを再び取り付け、もう一度発電機の始動を試みてください。

⚠ 注意

始動時に引っばったリコイルスターターはハンドルを握ったままでゆっくりと戻すようにしてください。スターターグリップから手を離すとスターターグリップが急激に巻き取られるためリコイルスターターが損傷したりスターターグリップによって発電機本体が損傷するおそれがあります。

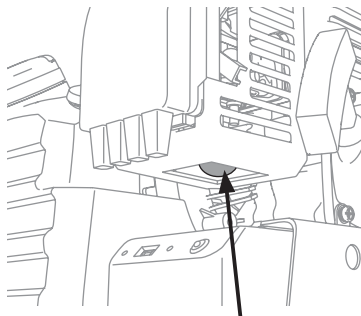
5.2 プライマーポンプ（シリコン製ドーム型ボタン）

初めて使用する場合は必ずプッシュしてください。

プライマーポンプとは燃料タンク内の燃料を強制的にキャブレターへ送るためのポンプです。本製品は始動テストを行いながら生産するために新品でも若干の燃料がこのポンプ内に残ります。このポンプを下から押すことでキャブレターユニット内へ正常に燃料を送り込むことができます。

規定量以上溜まった燃料はタンク内に戻される仕組みになっています。プライマーポンプは表から見えない場所に配置されておりますので指で押す際は周囲に触れて火傷しないよう充分に注意しながら押してください。

（起動時に 5 ～ 10 回程度押すとかかりやすくなります）



プライマーポンプ操作部

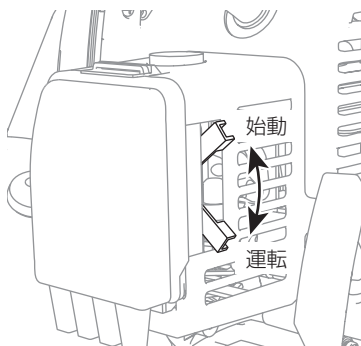
5.3 チョーク

チョークとはエアフィルターを通した空気量を調整するための通り道開閉レバーです。

レバーを上に出げると空気の通り道が小さくなり、点火しやすくなります。

エンジンが始動したら通り道を大きく開けるためにレバーを下に下げます。

※エンジンが暖まっている状態や気温が高い場合は始動の際にチョークを下げてください。

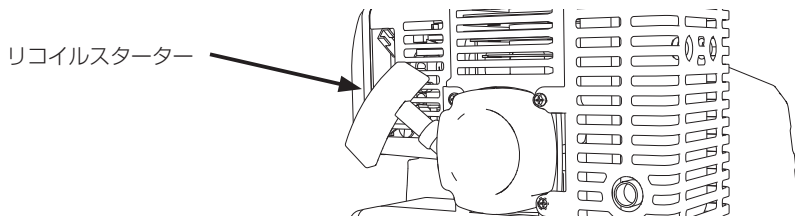


5.4 リコイルスターター

発電機始動時にリコイルスターターを引く際には発電機が動かないようしっかりと手で発電機を固定してリコイルスターターを勢いよく引いてください。

エンジンが始動したことを確認したらリコイルスターターを元の位置にゆっくりと戻します。リコイルスターターを 3 ～ 5 回引いても発電機が始動しない場合は点火プラグや燃料の量を点検して問題がないかどうか確認してください。

※本発電機は手動式でのエンジン始動となります。リコイルスターターを引くことで軸が回転して点火用電気が流れ、エンジンが始動するようになっています。



5.5 AC 電源ランプ / 周波数切替スイッチ

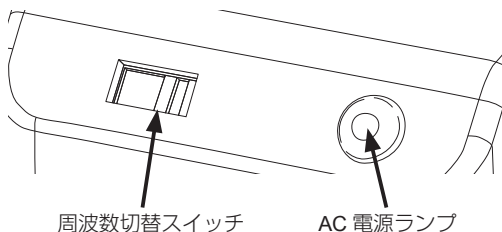
AC 電源ランプはエアクリーナーカバーの下に周波数切替スイッチと共に配置されています。

発電機が正常に始動すると AC 電源ランプは緑色に点灯します。

発電機に接続した電気機器が原因で発電機が過負荷状態に陥ると AC 電源保護装置が発電機と電気機器を保護するため状況により数秒～数十秒後に電力供給を停止します。

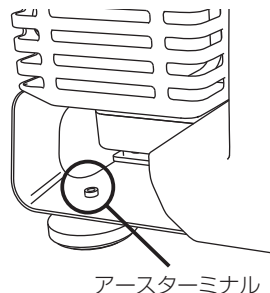
発電機が短絡した場合は AC 電源保護装置が発電機からの給電を即時に停止します。どちらの場合でも AC 電源ランプは点滅を繰り返し、発電機のエンジンは停止しないようになっていきます。

周波数切替スイッチは発電機の周波数を 50Hz、または 60Hz に切り替えることができます。お使いになる電気機器や使用する地域の周波数に合わせて切り替えます。



5.6 アース

発電機のアースターミナルは発電機底部に設置されています。電気知識を持つ技術者に相談して適切な方法でアースを取るようにしてください。



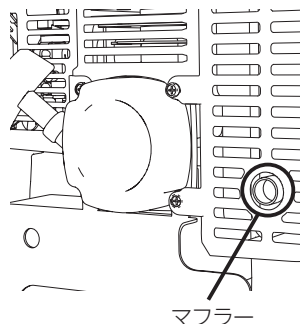
5.7 マフラー

※マフラー出口からオイルや燃料が噴き出すことがありますので十分に注意してください。

また、マフラー部分は高温となりますので触れると火傷などの重大な事故を引き起こすおそれがあります。。

マフラーの出口を塞いだり、マフラーに水が入ると故障の原因となりますのでご注意ください。エンジンの構造上、周辺にオイル等の汚れが付く場合がございます。また、2サイクルエンジン特有の白煙が出ます。

大変危険ですので排気ガスを吸い込まないように注意してください。



6. 発電機の使い方

6.1 AC 電源

発電機に電気機器を接続する際は電気機器が要求する電力が定格出力内かつ電源コードの太さに問題が無いか確認します。接続した電気機器の動作が緩慢だったり急に停止する場合、すぐに電気機器のスイッチをオフにして発電機から取り外してください。

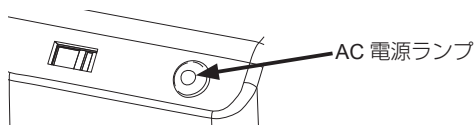
取り外した電気機器に問題がないか、電気機器が要求する電力が発電機の定格出力以下であるか確認してください。

▲ 注意

- ・ 過負荷状態になると AC 回路保護装置が作動し、発電を停止するようになっています。
- ・ 発電機を長時間使用する場合は使用する電気機器の要求する電力の合計が定格以下になるようにしてください。
- ・ 使用する電気機器が要求する電力の値は電気機器に貼られているラベルや取扱説明書などからご確認ください。

6.2 AC電源利用時の注意

1. 発電機を始動して AC 電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。



2. 接続する電気機器の要求する電力が定格出力以内であることを確認してから電気機器を接続します。
3. 発電機が過負荷状態、または短絡（ショート）状態になると AC 電源ランプが赤色に点灯して状況により数秒～数十秒後に電力供給が停止するようになっています。
その場合は発電機を停止してから問題の原因を究明してください。原因が過負荷か短絡（ショート）か判断し、問題を解決してから発電機を再始動してください。
4. AC コンセントへプラグを差し込む場合は接触不良、抜けのないように確実に接続してください。

▲ 注意

コンセントへの差し込みが不完全な状態で使用されますと機器の作動不良、故障、コンセント部分からの出火へとつながりますので十分に注意してください。

5. 接続する電気機器のプラグにほこり、汚れ、水などが付着している場合は電気機器のプラグをきれいに掃除してから接続します。

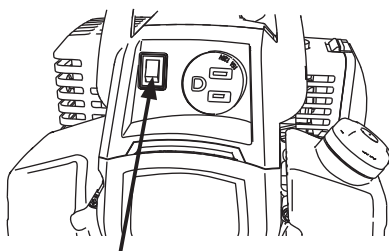
6.3 高地での発電機使用

一般的に発電機は使用する場所の標高が高くなるほど出力は低下しますので使用環境によっては定格出力の最大まで使用できない場合があります。

7. エンジン停止

通常時は以下の手順で発電機を停止してください。

1. 発電機に接続している電気機器のスイッチを OFF にしてコンセントから取り外す。
2. エンジンスイッチをオフにする。



エンジンスイッチ

注意

緊急時に発電機のエンジンを停止する場合は最初にエンジンスイッチをオフにしてください。

8. メンテナンス

8.1 メンテナンススケジュール

下表に記載されているメンテナンススケジュールに従ってメンテナンス作業を行ってください。

	毎回点検	運転時間 20 時間毎	運転時間 50 時間毎
ネジやボルトの緩み	○		
燃料漏れ	○		
エアフィルター清掃		○	
燃料ストレーナー清掃		○	
シリンダーナット締め直し			○
チャンバーとシリンダー排気部の堆積物の除去			○
点火プラグの清掃とクリアランス調整 (0.6mm)			○
マフラーの吸気部と排気部の清掃			○

安全のために

メンテナンスや修理は事故を防止するために必ずエンジンを停止した状態で行ってください。

排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています

発電機は必ず換気の良い場所で使用するようにしてください。

高温となる部品に注意

発電機のエンジンやマフラーは発電機運転中や運転直後は非常に高温となります。エンジンやマフラーに触れる場合は十分に時間を置いて冷たくなっていることを確認してから触れるようにしてください。

可動する部品に注意

本説明書をよく読んで発電機の各部品に関してよく理解してください。

故障かなと思ったら

以下に記載されている症状が発生した場合は販売店、またはパワーテックに依頼して検査・修理するようにしてください。

- ◆ 始動困難、または始動してもすぐに停止する
- ◆ アイドリングがばらついている
- ◆ 負荷をかけるとミスファイアリングやバックファイアが発生する
- ◆ アフターバーニングの発生
- ◆ 排気ガスが黒かったり燃料消費が多い

注意

1. 埃の多い場所で発電機を使用している場合は頻繁にメンテナンスを実行してください
2. 点検、修理は専門の知識を持つ技術者が行うようにしてください
3. 商業利用する場合は運転時間を記録して正しいインターバルでメンテナンス作業を行ってください

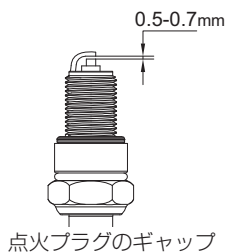
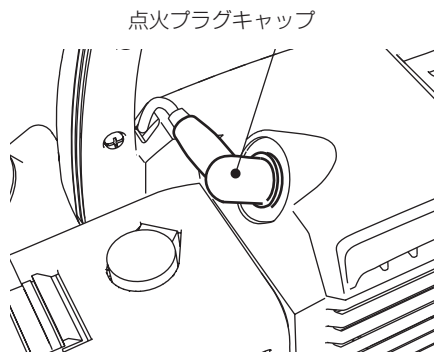
* 使用耐用時間は 300 時間でレジャー・防災用としての使用を想定しております。

8.2 点火プラグの点検

点火プラグはエンジンにとって重要な部品ですので定期的に点検してください。

1. 点火プラグキャップを取り外してから付属のプラグレンチを点火プラグに組み付けます。
2. プラグレンチを反時計回りに回して点火プラグを取り外します。
3. 取り外した点火プラグにすすやカーボンが付着していないか点検します。また点火プラグの焼け具合も点検・確認します。すすやカーボンが付着していた場合はワイヤーブラシで電極部を掃除してください。
4. 点火プラグのギャップを確認します。ギャップの正常値はおおよそ0.5～0.7mmとなっています。
5. 点火プラグにひびや割れなどの異常がある場合は点火プラグを交換してください。

■推奨される点火プラグ（BPMR7A[NGK] または同等品）

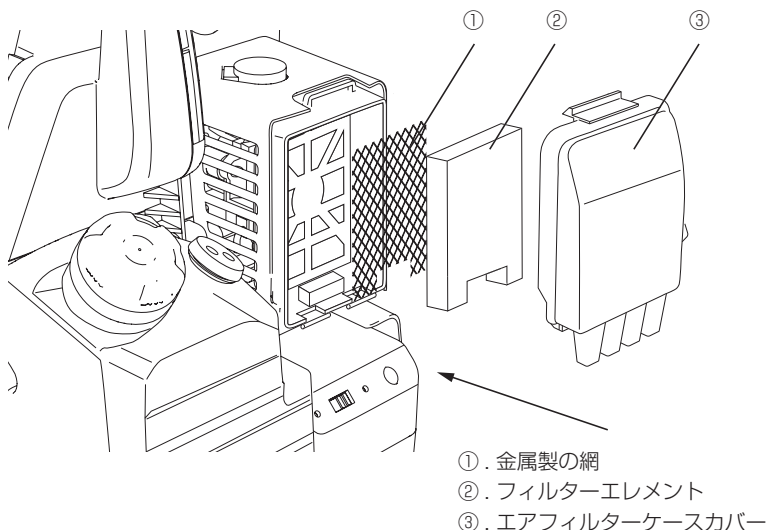


6. 点火プラグを交換もしくは再度取り付ける際にはネジ山を潰さないように最初は手で慎重に取り付けてください。
7. 手で軽く締めた後に付属のプラグレンチで新品のプラグを取り付ける場合は 1/2 回転、中古のプラグを取り付ける場合は 1/8 ～ 1/4 回転程度締めてください。
8. 点火プラグに点火プラグキャップを取り付けてください。

8.3 エアフィルターの点検

エアフィルターは定期的に点検・清掃してください。エアクリーナーが汚れると発電機の性能低下の原因となります。

1. 発電機本体のエアフィルターケースカバー上部の爪をマイナスドライバーなどで押さえて取り外し、斜め上方向にエアフィルターケースカバーを引き上げて取り外します。
2. エアフィルターケース内にはフィルターエレメントと金属製の網が設置されています。フィルターエレメントを点検して汚れや目詰まりがある場合は灯油またはフィルタークリーナーで洗浄した後によく乾かしてから2サイクルエンジンオイルを塗りつけます。
3. メンテナンスの終わったフィルターエレメントと金属製の網を元の位置に組み付けてからエアフィルターケースカバーを元の位置に取り付けます。



8.4 保管

発電機を長期間使用せず保管する場合は以下の点に注意してください。(1 か月以上エンジンを始動しない場合はタンク内の燃料を空の状態にしてください)

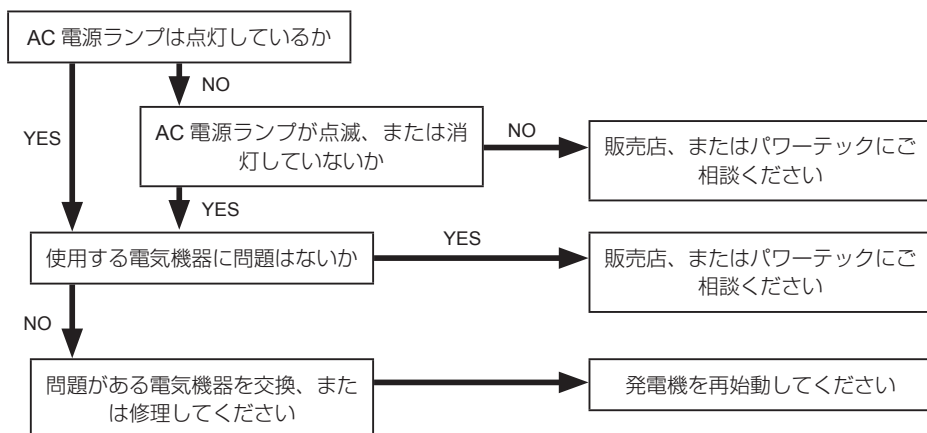
1. 燃料タンクから燃料を抜いた後、キャブレターのプライマーポンプ (16 ページ参照) を 5 ～ 10 回押し、燃料タンクに戻った燃料を再度抜いてください。
2. エンジンを始動し自然に止まるまで運転した後、チョークを始動側にし、リコイルスターターを数回引いておきます。
3. 点火プラグを取り外し、点火プラグを取り外した穴に 2 サイクルエンジンオイルを少量注いでください。リコイルスターターを数回ゆっくりひっぱりオイルをなじませた後、点火プラグを再び取り付けます。
4. リコイルスターターを抵抗が感じられるまでゆっくりと引いてください。その後、換気の良い場所に発電機を保管します。

9. トラブルシューティング

■エンジンが始動しない場合

1. 始動に失敗する
 - » 燃料に水が混入している→燃料交換
 - » 燃料がキャブレターに送られていない→プライマープンプ（16 ページ参照）を数回押ししてください
 - » リコイルスターターの引きが弱い
 - » 点火プラグにカーボンが堆積している、または点火プラグが損傷している
 - » 点火プラグにプラグコードがしっかりとまっていない
2. エンジンは始動するがすぐに停止する
 - » チョークが閉じたままになっている
 - » 混合燃料の燃料比がおかしい
 - » 燃料に水が混入している
3. エンジンは運転しているが出力が不足している
 - » エアフィルターの目詰まり
 - » シリンダー排気部やマフラーに堆積物が詰まっている
 - » ピストン、ピストンリング、シリンダーの摩耗
 - » 燃料ストレーナーの目詰まり
 - » 本体およびシャフト頭頂部からのオイル漏れ、または空気漏れ
 - » 過負荷状態
4. 運転中にエンジンが止まる
 - » 燃料切れ
 - » 点火プラグコードが外れている
 - » 点火プラグの汚れ、または故障
 - » 燃料ストレーナーの目詰まり
 - » 燃料に水が混入している
 - » タンクの空気穴がゴミなどで塞がれている

■接続した電気機器が使用できない



10. お問い合わせ窓口

10.1 お客様お問い合わせ窓口のご案内

お買い上げいただきました製品についてのお問い合わせ・ご相談・修理依頼は下記の窓口までお願いいたします。

なお、修理依頼される場合は依頼される前に本書に掲載されているトラブルシューティングを参考に点検し、不具合が解消されない場合に修理を依頼してください。

①お電話からの場合

パワーテックサービスセンター (0959-29-5111) までお電話いただき、オペレーターに必要事項をお伝えください。(その際に故障内容になるべく詳しくお伝えくださるようお願いいたします。)

②インターネットからの場合

パワーテックホームページ (<http://power-tech.jp>) にアクセスし、お問い合わせメニューから引取修理サービスを選び必要事項を記入のうえ、送信してください。

修理依頼時の手順

※保証期間内 (保証書あり) の場合

1.) 上記の手順で修理依頼をした後、不具合品と一緒に「保証書」を添えてお買い求めの販売店へお持ち込みください。引取修理サービスをご利用の場合はパワーテックが引取便を手配いたしますので、不具合品を梱包のうえ、「保証書」を中に入れて引取便のドライバーにお渡しください。

2.) 弊社サービスセンターにて確認後、要修理品については修理、修理不可能品は代替品にて対応させていただきます、お客様にご返送いたします。

保証期間内でも保証適用除外事項による故障は有償となります、その際は弊社からご連絡さしあげます。

※保証期間外 (保証期間後、もしくは保証書なし) の場合

1. 一度お電話、メール等でご相談ください。
2. 不具合品をお買い求めの販売店へお持ち込みください。引取修理サービスをご利用の場合はパワーテックが引取便を手配いたしますので、不具合品を梱包のうえ、引取便のドライバーにお渡しください。
3. 弊社サービスセンターにて修理させていただき、お客様に運送会社代金引換にてご返送いたします。通常修理の場合 2 ～ 3 営業日にて修理を完了し、お客様にご返送いたします。

【個人情報のお取り扱いについて】

当社では個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報はお客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾無く第三者へ個人情報を提供することはありません。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合はパワーテックサービスセンター 0959-29-5111 までご連絡ください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

10.2 保証内容

1. 保証内容

本製品に万が一不具合が発生した場合、この保証書に示す期間及び条件に従い無償にて修理、もしくは交換させていただきます。

2. 保証期間

保証期間ご購入日から6か月とします。(保証適用除外事項は除く)

なお、修理による交換部品及び修理部品に関しては交換及び修理日から90日間、または本体の残余保証期間のいずれか長い方とさせていただきます。

3. 保証適用除外事項

※以下に示す事項につきましては保証の適用外とさせていただきます。

- ① .保守・整備の不良、手順違いなどによる不具合
- ② .弊社が認めていない改造による不具合
- ③ .弊社の指定する以外の部品、材料、油脂類、その他の使用による不具合
- ④ .火災、天災、事故などによる不具合
- ⑤ .落下、衝撃、転倒、浸水などによる不具合
- ⑥ .取扱説明書により禁止されている、もしくは記載されていない行為による不具合
- ⑦ .消耗品、油脂類、及びそれらの交換・補充にかかる費用
- ⑧ .弊社サービスセンター、もしくは弊社指定の修理工場以外で修理された場合
- ⑨ .サービスセンター、弊社指定の修理工場で自然故障と認められない場合
- ⑩ .ご購入時に販売店による保証書への必要事項への記入及び捺印が無い場合
- ⑪ .保証書を紛失された場合、もしくはご呈示いただけない場合
- ⑫ .煤煙、薬品、オイル、酸性雨、石はね、鉄粉、降灰、塩分などの外部要因による不具合
- ⑬ .点検、定期点検、整備、定期交換部品の交換、調整、清掃
- ⑭ .使用に影響しない感覚的現象（振動、音等）
- ⑮ .経時変化や使用によって発生する現象（塗装、樹脂部品の自然退色、錆、腐食など）
- ⑯ .洋上での使用（塩水または塩風の影響）による不具合
- ⑰ .弊社が示す仕様（エンジン定格最大回転数・定格出力等）の限度を超えるなど過度の使用状況が本体に見られた場合。
- ⑱ .構成部品等の破損、もしくは故障をしたままの使用による不具合
- ⑲ .本体への異物混入（水分、砂または泥埃等）が原因となる不具合
- ⑳ .レンタル・リース業者など不特定多数の者に使用される場合

4. 付随的損害

本製品の起因による付随的損害（使用機器の故障、発電機の停電による事故、不具合など）については補償できませんのでご了承ください。

また、発電機を使用できなかったことによる損失等（休業補償、営業損失）についても保証適用外とさせていただきます。

5. 保証の発効

この保証書はご購入いただいたお客様と販売店による必要事項の記入、捺印にて有効となります。

6. 保証の適用

この保証書は株式会社パワーテックが日本国内で販売する発電機を日本国内で使用する場合にのみ適用されます。パワーテックが販売していない商品や国外で使用された商品は保証の適用外となります。

保証書

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

製品形式	PG700i
シリアルナンバー	
ご購入年月日	年 月 日
販売店	

お買い上げの際に販売店様に購入年月日と販売印を記入・捺印していただくようお願いいたします。

保証に関する詳細については本書に記載されている保証内容をご参照ください。

お客様お問い合わせ・修理窓口のご案内	
(株)パワーテックサービスセンター	
〒 851-3305 長崎県西海市西彼町喰場郷 938-7	
電話	0959-29-5111
FAX	0959-29-5566
E-mail	info@power-tech.jp
電話受付時間	10 : 00 ~ 17 : 00
※土曜、日曜、祝祭日、パワーテックが定める休日は休業日とさせていただきます。	

POWERTECH Inc.
株式会社パワーテック

<http://power-tech.jp>

2019.10 ver1.1